

お知らせ

岡山県古代吉備文化財センター	
担 当 者	総括副参事 松尾 佳子 主事 竹田 千紘
電話番号	086-293-3211

岡山県立大学生と吉備路のときめき発見 新企画！タブロイド紙「吉備路グラフィック No.01」を刊行しました

岡山県古代吉備文化財センターでは、このたび新たな試みとして、「吉備路の歴史遺産」魅力発信事業の一環で、岡山県立大学デザイン学部と協働によりタブロイド紙「吉備路グラフィック No.01」を刊行しました。

ぜひたくさんの方々に活用していただきたいので、お知らせします。

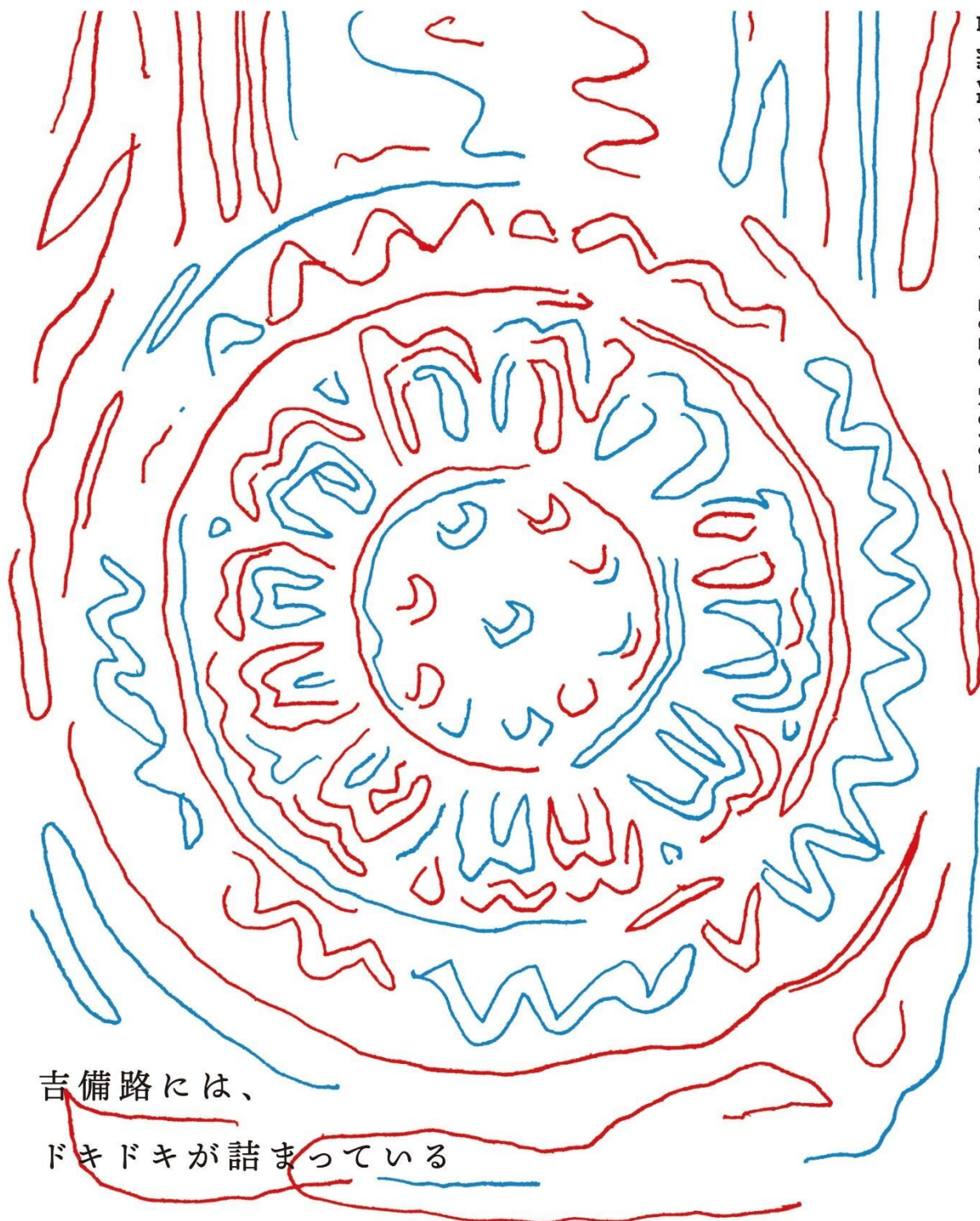
記

- 1 刊 行 物 「吉備路グラフィック No.01」
- 2 目 的 吉備路での発掘調査成果を発信し、遺跡に親しんでいただく。
- 3 発 行 者 岡山県古代吉備文化財センター
- 4 体 裁 縦 40.6cm・横 27.2 cm（仕上がり D4 判 二つ折り）、カラー
- 5 内 容 吉備路の周辺遺跡のうち、備中国分尼寺跡、こうもり塚古墳、作山古墳、鬼ノ城などを総社市、古代吉備文化財センターの調査担当ならではの視点で紹介。
発掘調査の現地説明会への参加方法やガイダンス施設を掲載。
- 6 発行部数 24,000 部
- 7 入手方法 ①岡山県古代吉備文化財センター及び下記施設に直接来所（無料配布）
②郵送（送料が必要）については当センターへ問合せ
【設置施設】
岡山県古代吉備文化財センター、遺跡&スポーツミュージアム、岡山市造山古墳ビジターセンター、総社市文化財課、総社市埋蔵文化財学習の館、総社吉備路文化館、国分寺観光案内所（くろひめ亭）、総社市内主要観光案内所 等
- 8 問合せ先 岡山県古代吉備文化財センター TEL：086-293-3211

kibiji Graphic

2025 No.01

吉備路グラフィック 2025 No.01



吉備路には、
ドキドキが詰まっている

タブロイド紙「吉備路グラフィック No.01」(表紙)

史跡 備中国分寺跡



奈良時代に備中国分寺とともに創建された国分寺の1つです。ほぼおなじところに日蓮山国分寺(今から約300年前の江戸時代中期に再興)が建てられているため、創建当初の建物は残っていません。しかし、奈良時代の立派な礎石が点在しており、往時の姿が偲ばれます。

ときめきポイント

吉備路のシンボルとして親しまれている備中国分寺五重塔です。江戸時代後期(1844年頃)に完成した境内唯一の五重塔で、その優美な姿は絵画や写真の題材として取り上げられています。

史跡 作山古墳



提供:総社市・株式会社アジア航測

作山古墳の詳しい説明はこちらから
総社市公式観光webサイト
→作山古墳

古墳南東側の「国分寺西」交差点からの眺めがオススメです。この交差点付近は、当時の主要な道が走っていたとされ、作山古墳は埋葬された人物の力の大きさをここを通る人に誇示したいと思われ。そんな作山古墳の墓列が眺める冬になると、非常に美しい風景を観望できます。ぜひ当時の人になった気分、古墳の大きさや美しさを体感してみましょう。

史跡 鬼城山(鬼ノ城)



鬼ノ城の詳しい説明はこちらから
総社市公式観光webサイト
→鬼ノ城

ときめきポイント

鬼ノ城に存在する門の中で最大の西門(12.3m×8.2m)は、発掘調査の成果と古建築等の知見を基に復元整備したものです。今日では、総社市を代表とする名所として多くの人が訪れています。また、天気の良い日には御国まで見渡すことができ、訪れた多くの人を魅了します。



写真:小倉護

史跡 備中国分尼寺跡

今から約1300年前の奈良時代、聖武天皇が国ごとに建立を命じた国分寺・国分尼寺の1つです。令和5(2023)年度から、岡山県古代吉備文化財センターによる発掘調査が行われており、建物の規模や基礎構造などが明らかになっていきます。

こちらから詳しい調査成果を御覧になれます。
古代吉備文化財センターHP
→史跡備中国分尼寺跡パブリック

ときめきポイント

寺の中で最も重要な建物である金堂の礎石(柱を支える土台石)です。これらは今でも松林の中で当時と変わらぬ姿で眠っています。それぞれの礎石をつないでみると、当時の建物の大きさが(東西約20m・南北約13m)を体感できます。

調査担当

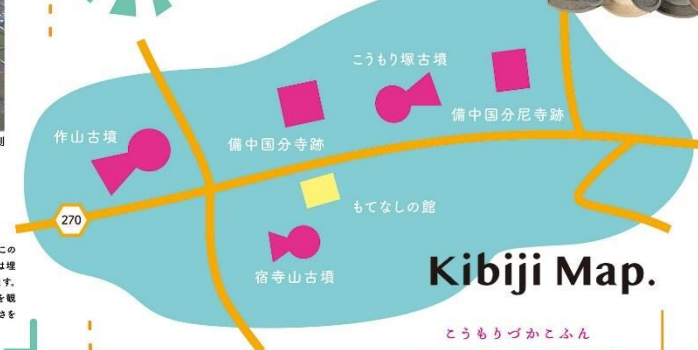
イチオシ!!



発掘調査で見つかった大量の瓦です。これらの瓦は建物の屋根材として使用され、寺の衰退と共に廃棄されたようです。これらの瓦の作り方などを研究することで、寺の築造、改修の変遷や建物の屋根構造など、多くの情報を得ることができます。



古代吉備文化財センター公式youtubeでは復元瓦の製作動画を公開しています。こちらをチェック!



きびじ 吉備路とは

総社市東部から岡山市西部に広がる一帯の総称で、その一部は吉備路風土記の丘(県立自然公園)に指定されています。吉備路には、日本古代史をたどるうえで重要な歴史遺産(国指定史跡等)が数多くあります。これら歴史遺産の多くが古代山陽道(へんなち)の都から九州の大宰府(ついで交通路)に沿って点在していることから、道路からの眺望を重視して築造されていると考えられます。



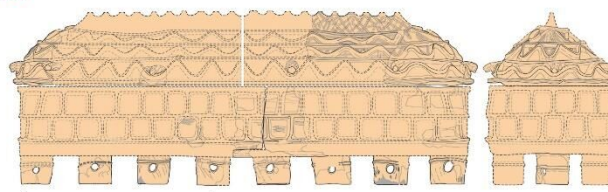
史跡 こうもり塚古墳



こちらから詳しい調査成果を御覧になれます。
古代吉備文化財センターHP
→史跡こうもり塚古墳パブリック

ときめきポイント

横穴式石室の中で存在感を放つ白色の束形石棺です。この石棺は、井原市周辺で出土する横形石棺(貝殿石棺)です。一方、陶器出土しており、粘土を焼成に焼いた製法はともにも珍しいです。その造りから近畿地方との関係が推察されます。



この陶器は総社市埋蔵文化財学習の館で展示しています。

調査担当 イチオシ!!



古墳の南からの眺望がオススメです。自然丘陵の先端に小高い後円部を配置することで、人の目を惹きつけ、その奥の前方部に視線を誘導することで、古墳の奥行きを醸し出しています。墳丘上には黄石や埴輪などの飾り気は一切ありません。余分な装飾を省きながらも、計算される城郭と、それを具現化した工入道の技術力の高さは目を見驚かすものがあります。

時空を超えたスポット探しに出かけませんか